

こんな枯れた木はナラ枯れが原因かも！

ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」によって、コナラやミズナラなどが集団的に枯れる被害です。平成 29 年8月に、湯本地域で被害が発生して以来、**現在では町内全域に被害が広がっており、県内他市町村をはじめ、全国的に被害が拡大しています。**

- ・人や他の動植物への影響はないのですか？

人体や他の動物、ナラ類、シイ・カシ類等以外の植物への影響が出た事例はありません。

- ・被害木を見つけたらどうすればいいですか？

被害木の処理は、森林所有者の責任で行っていただく必要があります。伐採等の処理方法等が分からない場合は専門業者に相談することをオススメします。

- ・箱根町ではどのような対策をとっているのですか？

平成 30 年度から甚大な人的被害等が発生する危険性のある箇所を中心に、伐倒等の処理を行っています。

- ・ナラ枯れ被害に遭うとなぜ木が枯れるのですか？

カシノナガキクイムシに集中的に
せんじゅう
穿入された樹木は、ナラ菌の作用により、水分等を吸い上げる機能を失い、急速に葉の色が赤褐色に変色し、こし
枯死に至ります。



湯本駅裏でのナラ枯れの発生状況（赤褐色に変色）

- ・ナラ枯れはいつ終息するのですか？

専門家によると、ナラ枯れ被害は **5 年程で終息すると言われて**います。

- ・カシノナガキクイムシってどんな虫ですか？

せんこうちゅうい
穿孔虫類に属するナガキクイムシ科の一種で、体長約 5mm の黒褐色の甲虫です。
6 月～9 月頃に、樹木内から脱出した成虫が、集合フェロモンに誘引されて集中的に樹木内に穿入し、産卵します。孔道内の幼虫は酵母類を餌として成長し、越冬後に
ようか
蛹化、羽化して新成虫となります。



オスの尾端にはトゲがある メスの背中には円孔(菌嚢)がある

カシノナガキクイムシ成虫（左オス、右メス）

では、ナラ枯れの特徴は？ 詳しくはウラ面に！

ナラ枯れによく見られる特徴

- 7月～9月に葉が紅葉し枯れる（大径木に多い）



ミズナラ大径木の枯死（9月）

- 幹に直径 1.5mm～2.0mmの多くの孔がある



穿孔孔の状況



穿孔するカシノナガクイムシ

※類似のヨシブエ
ナガクイムシの
穿孔孔は 1.0mm

- 幹の根元に大量のフラス（木屑と虫の排泄物が混ざった粉状のもの）がたまっている



幹の根元に堆積したフラス

ナラ枯れ被害に関する問い合わせ先

町 及び 県 機 関 名	電話番号	FAX
箱根町企画観光部観光課	0460-85-7410	0460-85-6815
環境農政局緑政部水源環境保全課	045-210-4355	045-210-8855
県西地域県政総合センター森林保全課	0465-83-5111	0465-83-7207